

地域医療連携だより

眼科の診療枠を拡大し 地域ニーズに対応します

これまで当科は常勤医師1名の体制でしたが、この4月に京大病院の眼科から村田万里子が赴任し、2名体制となりました。診療枠も拡大し、地域の患者さんのニーズに対応させて頂くとともに、開業医の先生のご紹介にもさらに対応できる体制が整いました。

白内障手術は日帰り・入院（片眼で2泊3日、両眼で4泊5日）の両方を行っており、患者さんの御希望に合わせて選択が可能です。霰粒腫、翼状片等の外来手術や、加齢黄斑変性、網膜静脈閉塞症や糖尿病黄斑浮腫に有効と言われる抗VEGFの硝子体注射なども当院で施行しております。



武田病院 眼科
村田 万里子 / 部長 牧山 由希子

また眼瞼下垂手術についても、形成外科専門医である乳腺外科の松谷副部長と協力体制をとり、当院にて手術が可能です。

眼科の先生からのご紹介はもちろん、糖尿病網膜症の精査など他科の先生方からのご紹介にも対応させて頂きますので、眼の症状でお困りの方がおられましたら是非、ご連絡下さい。

		月	火	水	木	金	土
午前診	9:00 ~ 12:30	~11時 ★牧山	★牧山	~11時 ★牧山	★牧山	★牧山	
	9:30 ~ 11:30		★村田	~11時 ★村田	★村田	★村田	
午後診	14:00 ~ 15:00	14時~16時半 ★沼	☆牧山		☆牧山		

●お知らせ 5月13日(月)より眼科の外来担当医が変更(青字部分)となります
★初診・予約のない再診・急患の方も受付けています ☆ 予約診療のみ

理念

- ・思いやりの心
- ・地域社会の信頼
- ・職員相互の信頼

基本方針

- ・ブリッジ・ザ・ギャップス
- ・患者さんの権利尊重
- ・信頼の医療に向けて
- ・地球にやさしい環境づくり

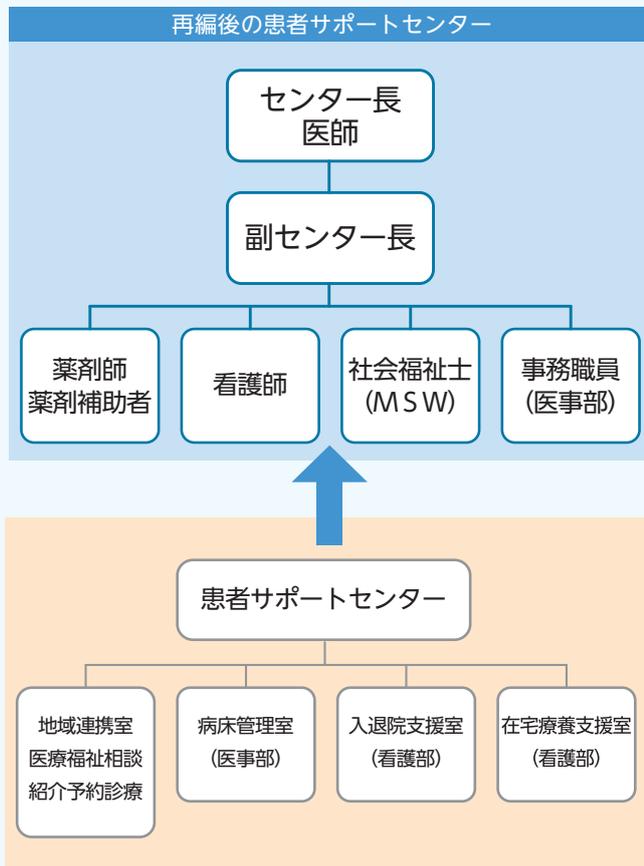
環境方針

- ・省資源・省エネルギーの推進
- ・廃棄物の3R
(減らす、再利用、再資源化)の推進
- ・安全性・快適性の推進
- ・環境広報活動の推進

患者サポートセンターを再編成しました

患者さんを中心に置いた1つの組織へと
患者サポートセンターを再編成
開業医の先生方との連携のもと
さらに安心して療養いただける環境へ

専門職が一人の患者さんをサポートする医療機関では、職種間の連携をいかにスムーズにするかが重要です。今回は、改善を続ける患者サポートセンターの取り組みをご紹介します



コミュニケーション向上で機能も向上

従来の患者サポートセンターは、地域連携室、病床管理室、入退院支援室、在宅療養支援室の4組織で構成され、これらが連携し機能していたのですが、一部、機能が重複していたり、部署間のコミュニケーションが取りにくい状況があり、病棟との連携も必ずしも十分ではありませんでした。

今回、我々の原点である「患者さんとのかけはし」になるとの基本方針に立ち返り、患者さんを中心に置いた“入院前から退院後まで一貫した1つの組織”へと再編成しました。具体的には、「まとめ役」となるセンター長、副センター長を新たに設置し、薬剤、看護、MSW、医事の各機能が力を結集することで、業務の効率化、情報共有などコミュニケーションの向上を図るものです。さらに、本センターの運営は病院長の直轄とし、また看護部長と事務長も直接

参画することにより、種々の状況に対して臨機応変に臨めます。

その結果、開業医の先生方との連携のもと、これまで以上に安心して療養いただける環境を患者さんにご提供できると考えております。

今後も私たちは、患者さんを第一とし、地域医療支援病院・開放型病院・高度急性期病院としての役割を果たし、また関係機関のご協力を頂きながら「地域包括ケアシステム」の推進につとめ、安心ある地域づくりに貢献してまいります。

引き続きどうぞ宜しくお願いします。





活動見学にあたり
講演形式でご説明しました



患者サポートセンターの活動見学に16病院

2月に関西地区の16病院38名の方がご来院し、当センターの活動の様子を定例ミーティングの模擬も含めてご覧になっていただきました。病診・病病連携の促進につながりますので、皆さんも是非、お立ち寄りくださいませ。

レスパイト入院のご案内

康生会武田病院では、在宅療養・介護で介助をされるご家族や関与する医療スタッフの皆様方が限界を超えることのないよう、レスパイト入院の対応に取り組んでいます。

年末年始・大型連休・夏季休暇等でのご利用もご案内しています。開業医の先生方のご協力のもと、地域の医療環境の向上に努めていく考えです。

右のご案内文をFAXさせていただいておりますので、患者サポートセンターにご連絡を頂きますよう、宜しくお願いします。

レスパイト入院のご案内



(医院・診療所向け)

当院では院内の病床を利用しレスパイト入院の受入れをしております。
レスパイト期間は 〇月〇日～〇月〇日
(期間は相談内容に応じて対応させていただきます)

申込の流れ

1. 患者サポートセンターへ電話にて依頼ください。
2. 診療情報提供書の事前FAXをお願いします。
※日程やお時間調整など相談対応させていただきます。
※日程によっては主治医の診察のない場合があります。
※連休中ですので精査目的・治療目的の入院ではないことをご了承ください

年	月	日	現在
レスパイト受入れ床		受入れ空床状況	
○床		○床	

お問い合わせ先

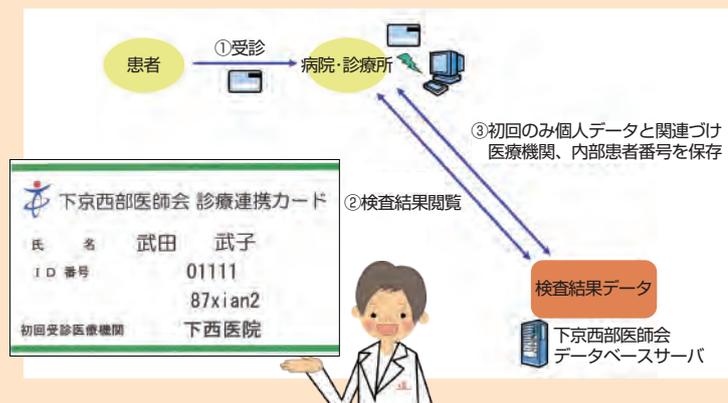
康生会 武田病院 患者サポートセンター
TEL:(075)361-1352(直通)
FAX:(075)361-1357(直通)
※ 受付時間 月～土 午前8時30分～午後17時



下京西部医師会診療連携カードのご案内

下京西部医師会診療連携カードの登録を頂くと、採血データや経過等について情報の共有ができ、受診に行かれた際に患者さんの状況が分りやすく伝わります。(カード参加医療機関内に限ります)

登録・参加医療機関や手続説明をご希望の方は、お気軽に患者サポートセンターまでお声かけください。



康生会武田病院は年間約 1700 人の 外国人患者さんに対応する 外国人患者受入れ医療機関認証病院です

国際医療支援室 三輪 篤志

24 時間 365 日体制で対応 ☎075-361-1351

訪日外国人の増加で医療機関を受診する外国人が増加しています。こうした状況に対応するため(財)日本医療教育財団が認証機関となり、「外国人患者受入れ医療機関認証制度 (JMIP)」(厚生労働省支援事業)が実施されています。京都の玄関口に構える康生会武田病院も JMIP の認証を取得しており、2018年4月～2019年3月の1年間で1651人(うち救急搬送84人)の外国人患者さんに対応しました。

その内訳(出身国)は、中国、アメリカ、オーストラリア、フランス、スペイン、英国が多く、この6カ国で全体の約60%を占めています。尚、当院では英語・中国語・韓国語・イタリア語に対応する通訳を配置し、さらに他の言語についても翻訳ツールを用意しています。ただし、国を問わず英語を使用する方が多く、実際の通訳言語は右のグラフのように英語が最も多いです。

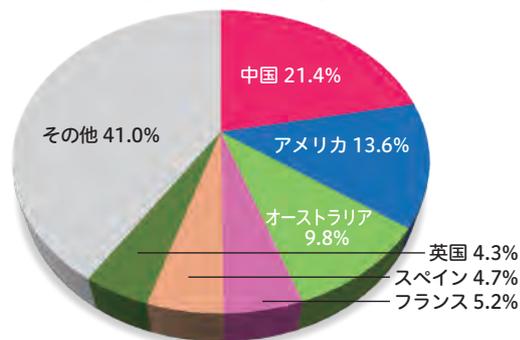
また主病分類別の受診数は下表の通りです。

当院では、周辺医療機関のお問い合わせに24時間365日体制で対応しています。病診連携のもと JMIP の精神である「外国人に安心、安全な医療を提供する環境の構築を支援し、言葉や宗教、文化の壁を越えた医療サービスの実現」を推進してまいります。

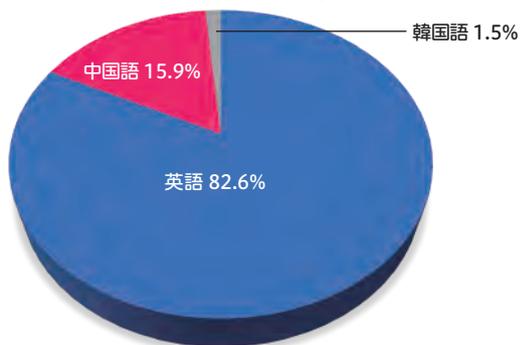
国際医療支援室



出身者別来院状況



出身者別来院状況



主病分類

呼吸器疾患 (気管支炎、喘息など)	405 人
外傷性疾患 (打撲、骨折など)	334 人
消化器疾患 (胃腸炎、下痢など)	242 人
皮膚疾患 (湿疹、蕁麻疹など)	147 人
尿路性器系疾患 (尿路結石症など)	125 人
筋骨格疾患 (関節痛、痛風など)	113 人
循環器疾患 (心不全、心筋梗塞など)	43 人
その他	242 人
合計	1651 人

救急搬送

打撲、挫創、捻挫	27 人
腹痛症、急性胃腸炎	11 人
骨折、脱臼	11 人
上気道炎、肺炎、熱中症	9 人
めまい	9 人
尿路結石、膀胱炎	3 人
過換気症候群	2 人
その他 (心筋梗塞、脳疾患ほか)	12 人
合計	84 人

受付時間 月曜日～金曜日 8:30～19:00 土曜日 8:30～17:00

※日曜日・祝日・祭日・年末年始はお休みさせていただきます。

患者
サポート
センター

医療機関専用

TEL (075) 361-1352 (直通)

FAX (075) 361-1337 (直通)

※患者サポートセンター受付時間外につきましては医事部(医療事務)にて対応させていただきます。

TEL (075) 361-1351 (代表) FAX (075) 361-1268 (医事部専用)